

令和4年度自己点検・評価にあたって

令和4年度の自己点検・評価に伴う報告書につきまして、各学部、各研究科の報告書は、それぞれの自己点検・評価委員会において作成し、大学共通部分の報告書については、当該評価項目の業務を担当する部署が当該項目について作成のうえ、各自己点検・評価委員会委員により構成された全学自己点検・評価委員会において、報告書の作成に携わった各部署代表の教職員を交えた確認を行い、報告書を完成させました。

また、それぞれの評価項目については、これまでと同様に、大学基準協会の第3期認証評価の評価内容に基づき、評価項目ごとに「達成されていること（以下、「達成」）」及び「未達であること（以下、「未達」）」並びに「未達部分の今後の対応や課題（以下「対応」という。）」に分けて、評価内容を文書ではなく箇条書きで記載しております。

なお、報告書は令和3年度の自己点検・評価報告書と並べた形で作成し、前年度の点検・評価内容と比較できるようにし、「評価内容」「自己評価」「根拠資料」におきまして、昨年度と同様の場合は青字で、変更がある場合は赤字で表記し、令和4（2022）年度の自己点検・評価において、大学基準協会の評価項目等を改めて確認したところ、本学の評価項目と一部齟齬が判明したことから、加筆・修正した部分については、緑字で表記いたしました。

また、令和3年度自己点検・評価において、外部評価の先生方からいただいた指摘・ご意見に対して記載している部分につきましては、灰色でマーカーいたしております。

さらに、令和4年度の大学基準協会での評価方針に倣い、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応・対策に関わる事項についても、評価を行うこととし、その記載内容には、黄色でマーカーいたしました。

報告書の「自己評価」欄には以下の基準に沿って、昨年と同様に「A」「B」「C」「D」の4段階で評価しております。

※自己点検・評価基準

A：ほぼ完全にできている（90点以上）

B：合格点だが改善の余地あり（60～90点）

C：もう少しで及第点（40～60点）

D：全くできていないか抜本的な改善が必要（0～40点）

上記4段階評価のうち、A評価は「達成」、C・D評価を「未達」として取り扱うことといたしました。

完成した自己点検・評価報告書は、4名の有識者（外部評価者）による評価を受け、それぞれのお立場から貴重な提言をいただきました。

今回の自己点検・評価の結果、未達となっている評価項目及び外部評価委員の先生方からの提言を真摯に受け止めて、内部質保証推進委員会を中心に、大学の更なる改善に積極的に取り組み、本学の教育と研究の質の向上を図ってまいります。

令和6年1月

内部質保証推進委員会

委員長 井 川 健